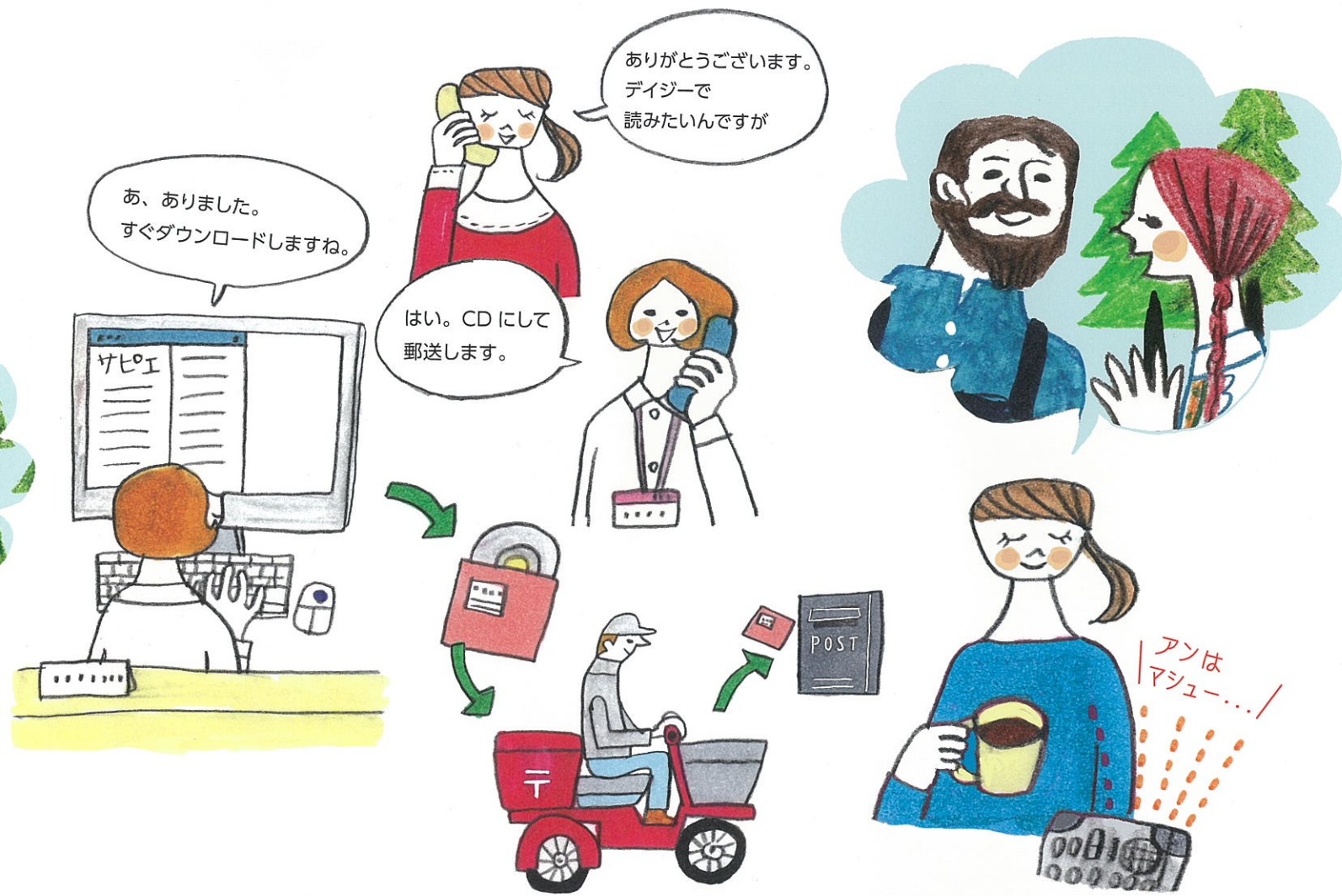


WHAT is sapie?

サピエを使って
利用者に
情報が届くまで

サピエのしくみ

サピエは、視覚障害者や活字による読書に困難のある人が利用できるコンテンツ（点字データ、音声デージーデータ等）をはじめ、暮らしに役立つ身近な情報などさまざまな情報を提供するネットワークで、2010年4月から運用を始めています。



※サピエは、ラテン語のsapientia（サピエンティア＝知識、叡智）を語源とし、それを呼びやすいように短くしたものです。

PROCESS

プロセス

1

- 視覚障害等の利用者から図書のリクエストの電話が入ります。
- 担当者はサピエが交付するログインIDとパスワードを使い書誌を検索したり、点字、音声デージー、テキストデージー、シネマ・デージーなどのコンテンツをダウンロードします。
- 著者名、キーワードが曖昧な場合にも検索により希望の作品を絞り込むことができます。

2

- 利用者の希望するメディア（点字図書、CDなど）で貸し出します。
- サピエ上にデータがなくても、書誌が登録されていれば、その所蔵館にリクエスト（オンラインリクエスト）して、現物の貸し出しを受け、それを利用者に郵送して貸し出します。

サピエを利用できる人

- 視覚障害者
- その他視覚による表現の認識に障害のある人（学習障害、発達障害、知的障害等、読みの障害のある人）
- 寝たきりやまひ等により、資料を持ったりページをめくったりできない人

※公共図書館において登録が必要

Q1 サピエにはどんな種類のデータがどのくらいありますか？

点字、音声デージー、テキストデージー、マルチメディアデージー、シネマ・デージーの5種類のデータがあります。

[コンテンツ登録数] (2014年8月現在)

点字：	159,850 タイトル
音声デージー：	55,715 タイトル
テキストデージー：	883 タイトル
マルチメディアデージー：	42 タイトル
シネマ・デージー：	105 タイトル

※書誌総目録数：878,828 タイトル

Q2 サピエを活用している施設や団体はどのくらいありますか？

点字図書館や公共図書館、ボランティア団体など288施設・団体が加盟しています。また、12,923人の個人会員が直接利用しています。(2014年3月現在) 最近は公共図書館の加盟が増えており、すでに点字図書館数を上回っています。

● 点字図書館：	86
● 公共図書館：	109
● 大学図書館：	7
● 盲学校：	17
● ボランティア団体：	43
● その他：	26

Q3 サピエを利用するために必要な機材は？

パソコンとインターネット環境さえあれば視覚障害者等個人会員の登録窓口としてスタートできます。また、オンラインリクエストによって所蔵館から借り受け、利用者に貸し出すことはすぐにできます。その後は、予算に応じて必要な機材をそろえてください。

[あれば役立つ機材]

- CD にデータを書き込めるパソコン ● CD コピー機
- CD 郵送ケース等
- 点字編集ソフト ● 点字プリンタ
- コンピュータ用点字用紙等

Q4 サピエの法的根拠は何ですか？

サピエは、著作権法第37条を法的根拠とし、公表された著作物を、点字データ、音声デージーデータをはじめ、視覚障害者等（視覚障害者その他視覚による表現の認識に障害のある人）が必要とする方式によってデータを製作し、対象者に公衆送信を行うことが認められています。

Q5 サピエの利用料はどのくらいかかりますか？

施設会員の年間利用料は4万円です。

*「利用料」は「図書購入費」等の科目に替えることも可能です。図書館が設定する予算科目に対応できます。また、図書館の事情によって、会員種別を選択します。詳しくは、サピエ事務局にご相談ください。